

補助事業番号 19-6
補助事業名 平成19年度RT（ロボットテクノロジー）産業創生マッチング支援補助事業
補助事業者名 社団法人 日本ロボット工業会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

製造分野のみならず介護、医療、防災といった新規分野においてRT産業創生の可能性が期待されているなか、学界が有する技術シーズを公開し、次世代ロボットの市場創生の加速化を図り、もって機械工業の振興に寄与する。

(2) 具体的な実施・成果

1) 実施内容

- ①第1回委員会を開催し、事業大綱方針とともに、出展募集案内（案）、さらに展示・実演方法についても検討を行った。
- ②委員会決定に基づき、RT（ロボットテクノロジー）産業創成支援補助事業（RT交流プラザで）のための出品案内を、大学・公設研究機関に対して電子メールにより広く配布・募集を行った。
- ③申込みのあった大学・公設研究機関について、委員に電子メールにて選定をお願いし、出展機関の確定を行った。
- ④出展機関に対する説明会を実施し、搬入・搬出スケジュール、会場レイアウト、実演方法およびそのスケジュール、また、無線を使用する機関に対しては、使用禁止機材、およびチャンネルの割り当て等についてそれぞれ説明を行うとともに、質疑応答を行った。
- ⑤無線を使用する大学・公設研究機関については、11月27日に無線調整会議をロボット展の会場で行った。
- ⑥RT（ロボットテクノロジー）産業創成支援補助事業を、11月28日（水）～12月1日（土）の4日間、東京ビッグサイト・東3ホールにおいて開催した。
- ⑦委員に対し、電子メールにより結果報告を行った。

2) 成果

本R T（ロボットテクノロジー）産業創成支援補助事業の開催を、2007 国際ロボット展の特別企画として、11 月 28 日(水)～12 月 1 日(土)の4日間の会期でR T交流プラザとして開催したが、出展は 14 の大学研究室、公設研究機関（うち 1 機関は他の公設機関との 3 機関合同）から、22 小間の規模となった。

今回のロボット展は、過去最大規模の規模で開催されるとともに、その来場者数も 104,211 人となり、R T交流プラザにも多数の来場者が詰めかけた。

2. 機械工業において予想される事業実施効果

交流プラザにおいて出展機関の技術シーズを公開したことで、今後、産学の技術開発の連携や技術移転、共同開発などが期待される。

3. 本事業により作成した印刷物（コンピュータ・ソフトを含む）

- ・ R T交流プラザ ハンディガイドブック 3,000 部

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名 : 社団法人 ^{しゃだんほうじん} 日本 ^{にほん} ロボット ^{こうぎょうかい} 工業会
住 所 : 〒105-0011
東京都港区芝公園三丁目5番8号
代表者 : 会長 ^{いむら} 井村 ^{けんすけ} 健輔
担当部署 : 総務部
担当者名 : ^{やない} 矢内 ^{しげあき} 重章
電話番号 : 03-3434-2919
FAX : 03-3578-1404
E-mail : yanai@jara.jp
URL : <http://www.jara.jp/>